

## グラフィックボード（ビデオカード、VGA カード）の取り付け

今回使用したのは高性能のグラフィックボードです。このボードにはヒートシンクにファンが付いています。また冷却のためにPCIスロットのブラケット2個分使います。

ディスプレイコネクタはデジタルインターフェイスが2個付いています。

グラフィックのチップは8600GTを使用しています。

ケースについているPCIスロットブラケットを2個取り外します。

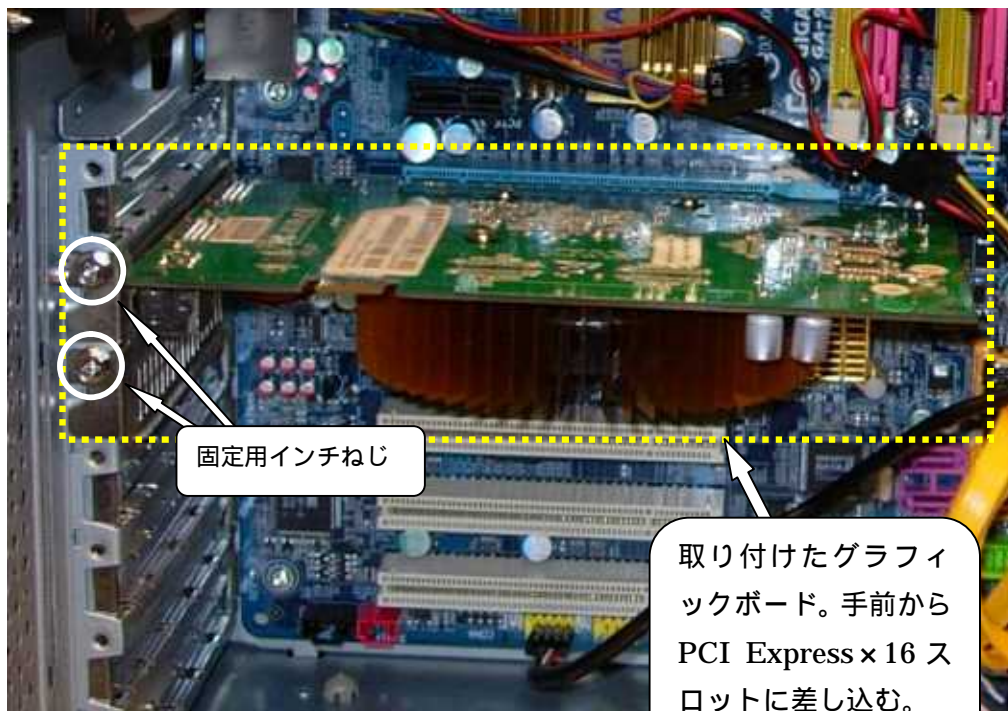
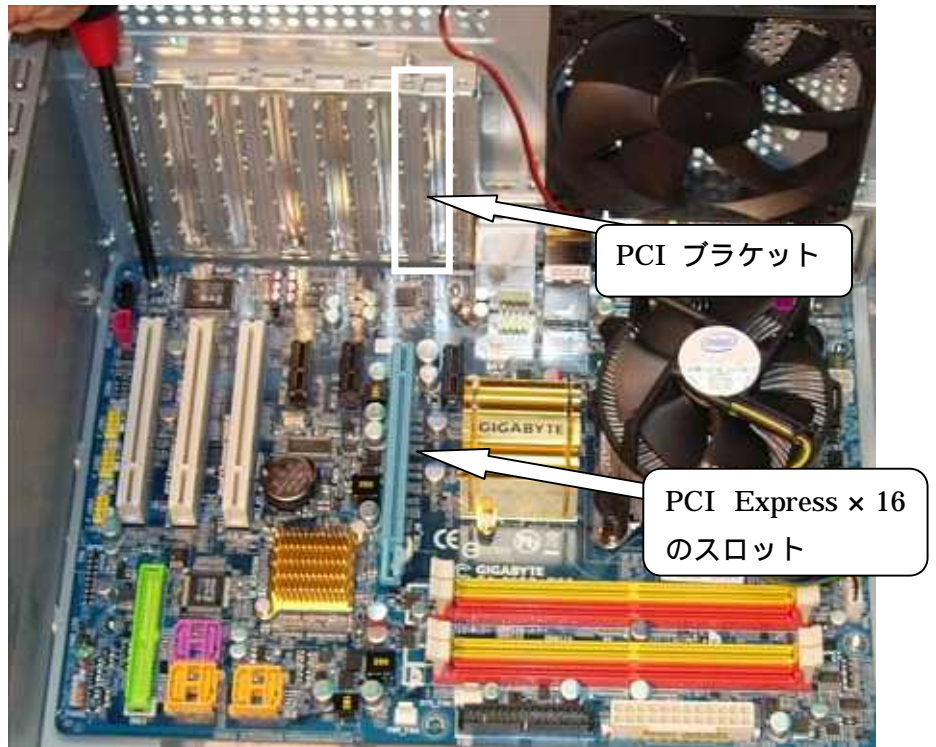
PCI Express × 16 のスロットに挿入します。

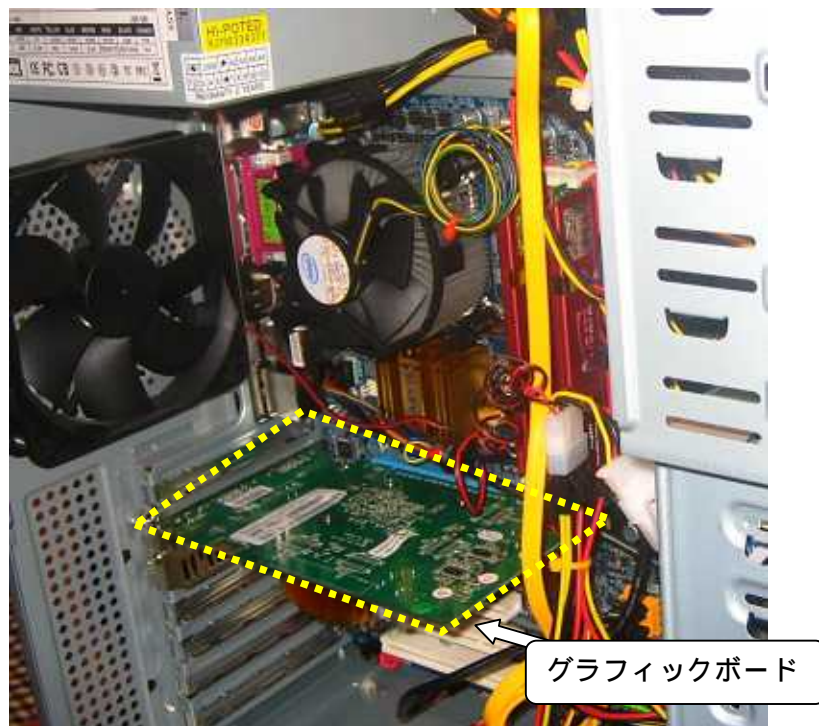
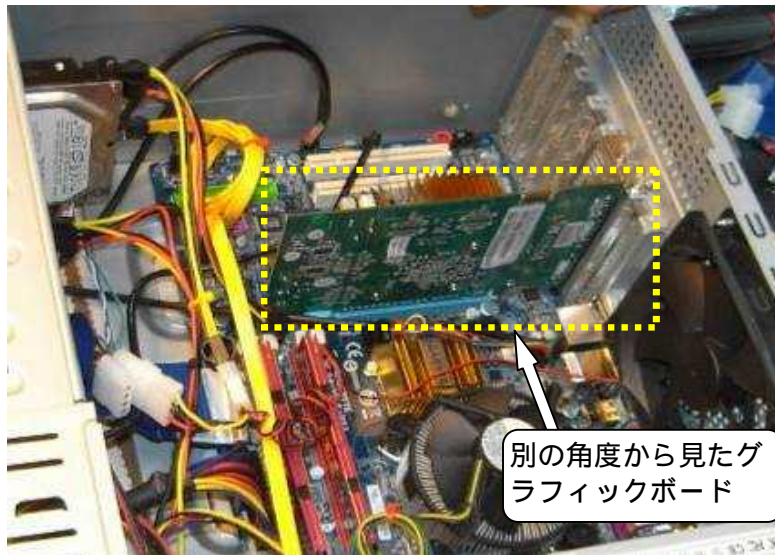
グラフィックボードをPCI Express × 16 スロットに入れ、上から力を入れカチッと音がするまで押し込みます。

現在は外部機器の接続も従来のパラレルインターフェイスから高速なシリアルインターフェイスへと移行してきています。グラフィックボードも従来のAGPスロットから高速なシリアルインターフェイス接続のPCI Express × 16 に変わってきています。

このマザーボードには従来使用されていたパラレルインターフェイスのAGPスロットありません。

PCIスロット固定用ねじを取り付けます。固定用ねじはインチねじです。





ケースを縦にして、マウス、キーボード、ディスプレイ、外部スピーカーを接続します。

最近のマウス、キーボードはUSB接続が一般的となってきましたが、

自作機ではPS/2接続の方がベターです。

これでハードの組み立ては完了です。



ケース背面から見たグラフィックボードコネクタケーブルでディスプレイと接続した状態